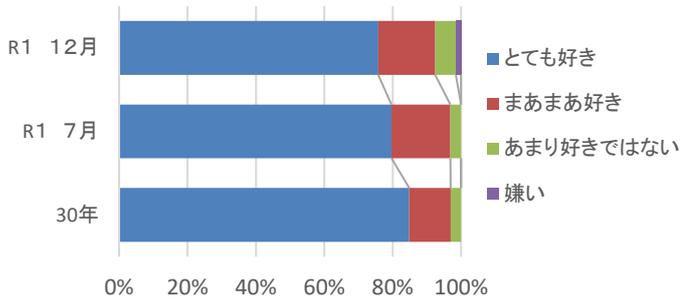
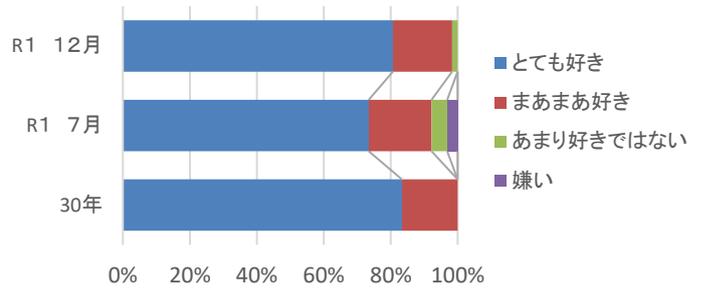


児童用アンケート(R1.2.14 現在)

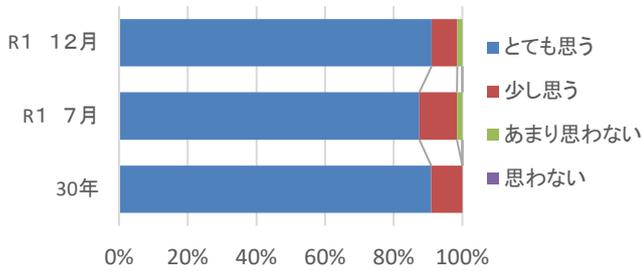
①海での体験活動は好きですか？



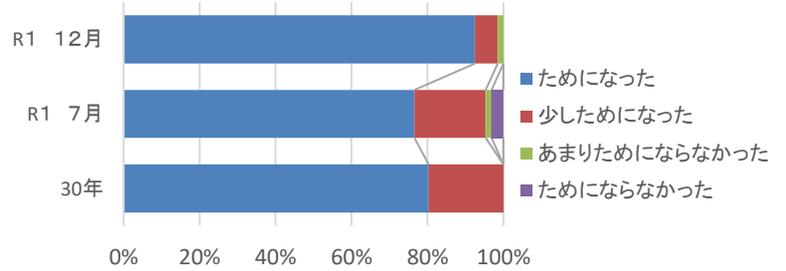
②小木の海は好きですか？



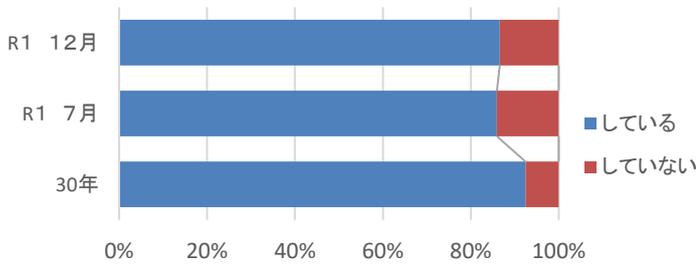
③海を大切にしようと思えますか？



④里海の勉強をして自分のためになりましたか？



⑤地域行事に積極的に参加していますか？



○②～⑤の肯定的回答の数値が上がった。

→海洋教育は2学期メインの内容であること、それを児童が心から楽しく感じていたこと、先生方一人一人が熱心に内容を見直し・指導に当たったことが要因だと考える。

○海洋教育が「自分のためになった」と実感している児童が増えた。

→自身の学びと生活がつながっている内容となっていた。

○本校の児童像である「ふるさとに誇りと愛着」の意識が高まった。

→地域の人材を活用する、カリキュラム構成となっている。

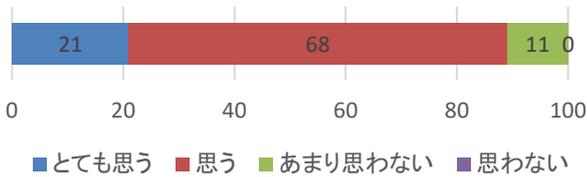
▲海での体験活動が好きであると答えた児童が減った。

→防災訓練・小中連携による防災教育から、海の脅威を実感しているため、「海は怖いから。」「海は危ないから。」と答える児童がいた。

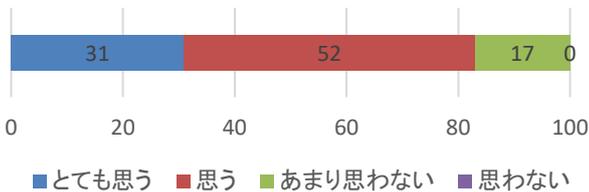
保護者用アンケート(R1.2.14 現在)

I 本校の海洋教育について

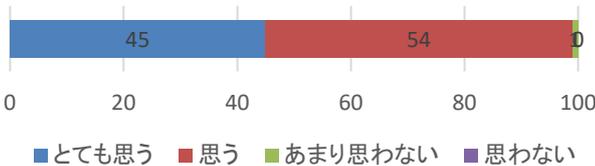
①子どもたちが、どんな里海学習・活動をしているか知っている。



②里海学習・活動が地域振興に役立っていると思う。

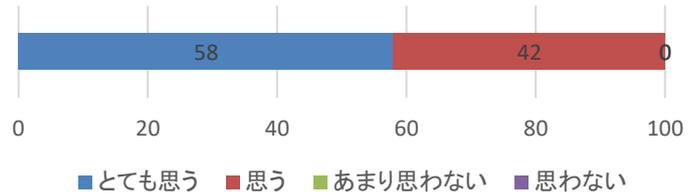


③海洋教育(里海学習)は必要だと思う。

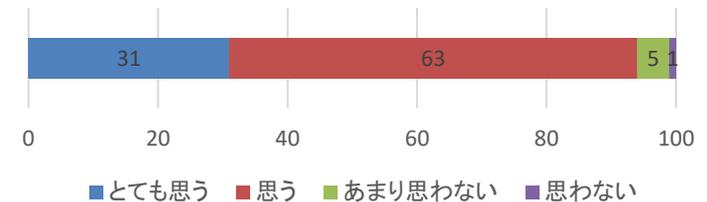


II 子どもたちの様子

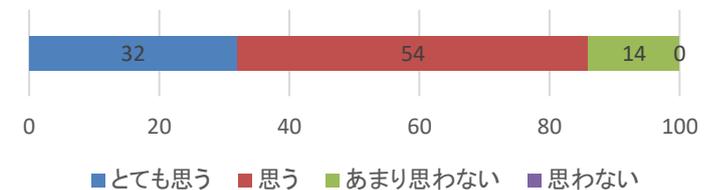
①子どもは、里海学習・活動に熱心に取り組んでいる、楽しみながら学んでいると思う。



②子どもは、ふるさとの海や小木の町のことを考えるようになってきていると思う。



③子どもは、ふるさに誇りや愛着を持つようになってきていると思う。



III 保護者の声

生まれ育った小木の恵まれた里海的环境中で、海のことを知り、海に親しみ、海の大切さなどを学ぶことができ、ふるさとの魅力やふるさと愛が深まっていく、とても素晴らしい学習活動だと思います。

里海科は、小木小が誇る特色ある教育です。これからも里海に暮らす人々の生活やこれまでの営みに目を向けて自然と共に生きていくことについて、広く学んでほしいと思います。

子どもの話を聞いていると、学習していること、活動を通して興味を持って真剣に取り組んでいるのが伝わります。とても素敵なおことです。こうした学びの機会があるということは、大変ありがたいことです。

ふるさとの海や小木の町を考えることは、子どもにとってとてもいいことだと思います。小木のことをもっと知って、活性化できるような取組になっていくといいと思います。

- どの問いにも肯定的回答が90%近くある。
- 保護者も海洋教育の必要性を実感している。
- ▲発信という点において努力する必要がある。
- HPだけでなく、学校・学級だよりで発信する。
- 校内里海発表会や九十九子発表会への参加を集う。

